



特定非営利活動法人日本咀嚼学会主催・**LOTTE** 特別協賛

第30回 咀嚼と健康ファミリーフォーラム

健全な咀嚼を育み、 維持することの大切さ

「食べる」ことは、生きていく上で欠かせないことです。
生涯にわたって美味しく食事し、健康を維持するために、
咀嚼について学びませんか？専門家が分かりやすく解説します！

**先着1000名
参加費無料**

WEB公開 2024年11月15日金-2025年1月10日金

プログラム

主催者挨拶

特定非営利活動法人日本咀嚼学会 理事長／
松本歯科大学総合歯科医学研究所顎口腔機能制御学部門 教授
増田 裕次



講演 1 食べる機能はどのように発達していくのでしょうか

乳幼児期は、ひとが一生使っていく食べる機能の基本的な発達の時期です。本人の伸びていく力と環境とのかかわりの中で、美味しく楽しく安全に食べることはどのように育っていくのでしょうか、それについてお話していきたいと思います。

日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科 教授 **田村 文彦**



講演 2 高齢者における食品・栄養摂取について

近年「フレイル」という言葉が多くの方々に認知されてきましたが、食品や栄養摂取は高齢者の大事なフレイル予防対策の一つです。本講演では、高齢者における食品や栄養摂取について、歯や食習慣の観点から、過去の研究結果を交えてお話しします。

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野 准教授 **駒ヶ嶺 友梨子**



講演 3 フレイル予防のための食事

高齢期の栄養の問題は、“メタボ”だけではなくむしろ“フレイル”であり、フレイル予防のための食事を摂ることが重要です。フレイル予防は「こうありたい」という理想の姿を目指すものです。理想の自分の実現のために、何をどう食べたらよいかを解説します。

日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 管理栄養士 **尾関 麻衣子**



講演 4 咀嚼と生活習慣病

うまく噛めないことは、生活習慣病のリスクにつながります。逆に、生活習慣病の患者さんはうまく噛めないリスクが高く、さらにうまく噛めないことはその後の健康状態にも関係してきます。講演ではこうした咀嚼と生活習慣病についてお話しします。

大阪大学大学院医学系研究科 病院臨床検査学講座 講師 **高原 充佳**



座談会 健全な咀嚼を育み、維持することの大切さ

司会 新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔生理学分野 教授 **山村 健介**
広島大学大学院医系科学研究科 先端歯科補綴学 准教授 **吉川 峰加**

インターネットでお申し込み



左のコードを読み取るか

咀嚼と健康ファミリーフォーラム

検索

を検索してお申し込みください。

Eメールでお申し込み

①お名前 ②年齢 ③電話番号 ④ご職業
⑤「チラシ/ポスターを見た」とご記入の上、
下記アドレスまでお送りください。

soshaku@ellesnet.co.jp

※当事務局は個人情報保護を実践しています。ご記入いただいた
個人情報、これらの目的以外には使用いたしません。

後援

(公社)日本歯科医師会、(一社)日本歯学系学会協議会、
(公社)日本栄養士会、(公社)日本歯科衛生士会、
(公社)日本小児歯科学会、(公社)日本補綴歯科学会、
(一社)日本老年歯科医学会、日本チューインガム協会、
(一社)日本食育学会